

令和7年度鳥取市立高草中学校CHA³プログラムへ会員企業の若手社員派遣

- 1 日 時 令和7年11月6日（木）8：45～11：40
- 2 場 所 鳥取市立高草中学校体育館
- 3 参加者 高草中学校2年生、鳥取県経済同友会東部地区会員企業社員、
地域の方、鳥取大学の学生
- 4 内容

「CHA³プログラム」とは、「ふるさとキャリア教育」を基軸とした鳥取県の人材育成事業で、子どもたちが地域の「人」との関わりの中で、自分の生き方を見つけるとともに、「ふるさと鳥取県」に誇りと希望を持った人生を送れることを意図したものです。

未来の人材育成委員会が昨年度に続き、鳥取県教育委員会が主導して鳥取市立高草中学校で行う「CHA³プログラム」に協力することとなり、同委員会田淵委員長が、会員企業に若手社員参加を呼び掛けたところ、7事業所から若手社員16名を派遣していただきました。

中学生にとって若手社員は歳が近く若手社員と話をすることで、自分自身の近未来を描きやすいことを意図したものです。

当日は、鳥取市立高草中学校で中学2年生78名、大人43名の参加により、「CHA³プログラム」が実践されました。まず、中学生が加わる前に、参加した大人を対象に鳥取県教育委員会の担当者から、プログラムの目的、上下関係のない対等な立場での会話、お説教は駄目等の説明があり、グループに分かれて「自己紹介」等を模擬実施しました。

続いて、中学生が体育館に入場し、大人、中学生を合わせて5～7人の18グループに分かれて、本番となりました。

アイスブレイクで、「東京で始まる地名のしりとり」がおこなわれました。続いてのトークテーマは、「自己紹介、子どものころのヒーロー・ヒロイン」で、各自が紹介しあううちに中学生も徐々に緊張もほぐれ、笑い声も聞かれるようになりました。続いて、「今年にな



【意見交換の様子】



【参加者全員で集合写真】

って「ありがとう」と言われたことは？」、「住んでいる地域のいいところ、すごいなと思うところは？」、「10年後の自分は何をしていると思うか」などについて休憩を挟んでグループメンバーも一度チェンジをして意見交換が行われました。最後に、「心に残った言葉」、「印象に残ったこと」、「CHA³トークの感想」、「グループで話して感じたこと」を話し合って終了しました。トークテーマは昨年度とほぼ同様な内容でした。

終了後に同友会会員企業の若手社員に感想をきいたところ、「普段は、設備の保守の仕事をしているが、すなおな中学生と話しているうちに、中学時代を思い出し懐かしく、良い体験ができた。」と返答がありました。

参加した若手社員も中学生もよい経験になったようです。